

米国トレジャーデータ社のログ収集基盤ソフトウェア「Fluentd」「Embulk」を通信キャリア向けに展開

2016年8月31日

弊社は、米国トレジャーデータ社（以下、トレジャーデータ）^(注)のログ収集基盤ソフトウェア「Fluentd（フルエントディ）」および「Embulk（エンバルク）」を、本日から通信キャリア向けに導入・運用サポートを開始いたします。

「Fluentd」および「Embulk」は、トレジャーデータが開発したオープンソースのログ収集基盤ソフトウェアです。「Fluentd」は、ログデータをストリーミングでアップロードする機能を有し、「Embulk」は他のデータベースにあるデータなどをバッチで取り込むソフトウェアです。いずれも、企業が保有する大量のデータを効率よく収集・管理することができることから、大規模Webサービスやビッグデータの基盤に、多く導入されています。

弊社は長年のキャリア向け情報システム事業において、サービス提供設備の運用支援系システムの構築実績があります。その知見を活かして、「Fluentd」および「Embulk」の機能や特徴、制限事項なども考慮し商用ネットワークへの導入を進めてまいります。

これまで弊社は、三菱電機グループのIT事業の中核企業として、ネットワークを含めた様々なシステムを構築して参りました。またトレジャーデータは、ビッグデータのプラットフォームの提供会社として、「Fluentd」および「Embulk」を提供しております。今後両社は協力して「Fluentd」および「Embulk」を生ログの収集用途に積極的に展開していきます。

弊社は、オープンソースソフトウェアを主体にビッグデータ分析基盤ソリューションを体系化しており、今回のトレジャーデータとの協業は、そのレパートリーを更に強化するものです。また一方で、データサイエンティストの育成・送出や、デザインアプローチ手法などの発想法の導入、初期投資を抑えるミニマムスターターキットの提案と共同PoCの働きかけも進めています。お客様の現場においてデータ分析業務を共に担う中で実践的なデータ分析ノウハウを蓄積し、新たなデータ価値創出、ひいては新たなビジネス創出を目指しています。

(注) [米国トレジャーデータ社](#)

2011年12月、米国シリコンバレーに設立された米国トレジャーデータ社は、ビッグデータのプラットフォームの提供を専門としています。大容量の購買取引データやWeb閲覧データ、各種のアプリケーションやモバイル端末のログデータ等、様々な非構造化データに対応して、ビッグデータを一定の月額課金で収集・保管・分析するクラウド型データマネージメントサービス（DMS）「トレジャーデータサービス」を提供しています。さらに、センサーデータやマシンデータ等、IoT分野におけるビッグデータへの対応も強化しています。日本では、2012年11月に国内の事業開発および技術開発の拠点としてトレジャーデータ株式会社を設立、また、2015年1月にソウル支社を開設、アジア太平洋市場における本格的な事業展開を開始しています。

お問い合わせ先

このトピックスに関するお問い合わせは、[お問い合わせフォーム](#)よりお願いいたします。

関連情報

関連製品・サービス

[ログ収集基盤ソフトウェア Fluentd](#)